

2023 年度オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR) 活動計画

2023 年 3 月 16 日

総 会 承 認

1. 会員機関相互の情報・ノウハウ共有の強化と人材育成	
コミュニティ・グループ	活動計画
① 広報・普及作業部会	
(ア) 広報誌	ウェブマガジンを発行し、JPCOAR の活動成果発信および情報提供を行う。また、広報資料の作成を行う。さらに、ROARMAP 対応等、OA ポリシーリストの管理を行う。
(イ) ML 管理・ウェブサイト	ウェブサイト・SNS での迅速な情報発信を行う。また、メーリングリスト(ML)の管理を行い、利活用を促進する。
② イベント運営作業部会	
(ア) 担当者向け研修、セミナー等の実施	各会員機関の機関リポジトリ担当者が機関の特性や置かれている状況に応じて必要な研鑽を積めるような研修・セミナー、コミュニティ活性化を目的とした図書館総合展等のイベントを月 1 回程度実施する。運営事務の一部を業者委託する。
2. 会員機関が公開するコンテンツの多様化と利活用	
コンテンツ・グループ	活動計画
① コンテンツ流通促進作業部会	
(ア) JPCOAR スキーマ	JPCOAR スキーマ Version 2.0 の普及活動を行うとともに、DOI ガイドラインおよびメタデータ流通ガイドラインを改訂し、カタログ情報の流通に向けて関係機関との調整を図る。
(イ) DOI・ライセンス	識別子・ライセンスの調査結果に基づき、学術成果の普及・利活用を促進する。
(ウ) SCPJ	著作権ポリシーのデータメンテナンスを継続し、SCPJ の利用を推進するための方策を検討する。
② 研究データ作業部会	
(ア) RDM 教材作成	<ul style="list-style-type: none">・国内のニーズに即した新たな RDM 教材の作成に向けて、予備調査等の準備を進める。・現行の RDM 教材の利活用拡大に繋がる事業を検討・実施するとともに、学認 LMS 上の RDM 教材の内容・運

	用面について協力する。
(イ) RDM 事例形成	<ul style="list-style-type: none"> ・2022 年度の機関向け RDM アンケートの結果を踏まえて、会員機関による RDM に役立つ事業を検討し、実施する。 ・AXIES-RDM 部会等の外部機関と連携しながら、RDM 事例形成に繋がる事業を展開する。
3. リポジトリシステムの維持・発展の促進	
システム(JAIRO Cloud)・グループ	活動計画
① JAIRO Cloud 作業部会（活動開始は、JAIRO Cloud 移行完了後となる。）	
(ア) 利用サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・JAIRO Cloud に関する参加機関の利用のサポートをする。 ・JAIRO Cloud に関する機能・設定・操作 等に関するオンラインの情報共有機会を作る。
(イ) 機能改善	JAIRO Cloud に関する機能改善の集約方法等について検討する。
(ウ) システム関連問い合わせ対応	メーリングリスト等を通じて JAIRO Cloud 利用支援を始めとする JAIRO Cloud コミュニティのサポートを行う。
② システム開発・連携作業部会	
(ア) ワークフロー開発	需要に基づくコンテンツ流通の促進とワークフローの軽減を目的に必要な調査・分析を行い、新しいワークフローの提案、必要な機能の開発協力を行う。
(イ) コミュニティ・フレームワーク	・JPCOAR として指標としての利用を検討する。COAR のフレームワーク見直しに貢献する。次のアンケート調査に向けての準備を進める。
③ 次期 JC 移行タスクフォース（移行完了後、3.-①JAIRO Cloud 作業部会に統合）	
(ア) 利用サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・次期 JAIRO Cloud への移行に伴う参加機関の利用のサポートをする。 ・次期 JAIRO Cloud への移行に伴う機能・設定・操作 等に関するオンラインの情報共有機会を作る。
(イ) システム関連問い合わせ対応	メーリングリスト等を通じて次期 JAIRO Cloud 移行支援を始めとする JAIRO Cloud コミュニティのサポートを行う。